

## 日中韓の協力の意義

2010年11月18日

東北大学 東北アジア研究センター  
 (財)地球環境戦略研究機関 気候変動グループ  
 明日香壽川  
 asuka@cneas.tohoku.ac.jp

1

## 本発表の構成

1. 世界の現状
2. 各国の現状
3. 協力の意義とかたち

2

## 1. 世界の現状

3

## 国際政治的には混沌

- 米国（連邦政府）は深刻（ただし、地域の排出量取引制度は動きそう）
- 現状の国際枠組みは、法的には曖昧（コペンハーゲン合意は留意すればよいだけ）
- 多極化・分散化・ボトムアップ化→決して良いことではない
- カーボン市場は低迷

4

## しかし、投資は増加

- グリーン投資・グリーン雇用（例：ドイツでの再生可能エネルギー産業の雇用は2009年時点で34万人←2004年の2倍）
- 電気自動車
- スマート・グリッド
- 無電化地域の電化およびエネルギー安全保障確立という意義も大きい

5

## 2. 各国の現状

6

### 各国の現状

#### 日本

- 2020年に1990年比で25%削減は条件（米国と中国の野心的な目標）付き
- 温暖化問題自体に関心が薄れている
- 電力買い取り制度（FIT）、炭素税、排出量取引制度が同時に議論
- 一番合意が難しい排出量取引制度はかなり産業界に配慮

7

### 各国の現状

#### 中国

- 第11次5カ年計画目標達成に必死（強制的停電も発生している）
- 環境税、燃料税、排出量取引制度が同時に議論
- 第12次5カ年計画（エネルギー原単位17.3%削減？）
- 国際社会への発信（コペンハーゲン・ショック？）

8

### 各国の現状

#### 韓国

- 途上国からの“卒業”
- “グリーン成長”一色？
- 日本と同じような「経済成長と環境との両立」のくびき？
- 国際社会への発信（NAMAレジストリ、CERクレジット・ディスカウント）

9

### 各国の“差”は縮まっている（1）

日中間の鉄鋼産業エネルギー効率比較

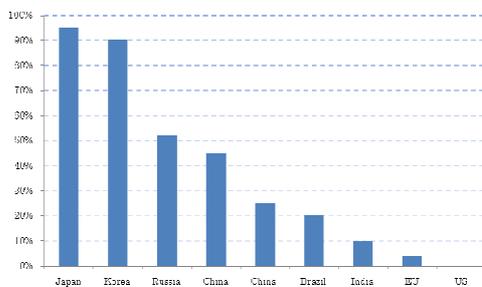
		Energy consumption intensity	Coles production process	Sluitering steel production process	Pig production process	Iron production process	Converter steel production process	Rail formed process
1	Major Chinese companies	20.64	4.16	1.94	13.65	0.99	2.72	
2	Smaller Chinese companies	20.59	6.71	3.18	17.32	2.20	8.80	
3	The highest level in China	17.45	5.58 (Bao-Shou)	1.52 (Huang-Zhou)	11.57 (Bao-Shou)	-0.11 (Wu-Han)	1.57	
4	Average in Japan	19.20	2.78	1.55	11.59	-0.08	1.81	
Difference within China	2-1	9.95	2.54	1.24	3.68	1.21	5.68	
	2-3	13.14	4.13	1.65	5.75	2.31	6.83	
	1-3	3.19	1.58	0.42	2.07	1.10	1.15	
Difference between China and Japan	1-4	1.43	1.38	0.39	2.05	1.07	0.90	
	2-4	11.39	3.93	1.63	5.73	2.28	6.99	
	3-4	-1.76	-0.20	-0.03	-0.02	-0.03	-0.24	

Reference: Ning Ya-Dong, Yutaka Tonoaka, 2008

10

### 各国の“差”は縮まっている（2）

鉄鋼分野省エネ技術(CDQ:コークス消火装置)導入率の国際比較(2006年)



Reference: IEA (2006)

11

### 3. 協力の意義とかたち

12

## 考えられるアイデア

- 環境ビジネスへの環境整備
- カーボン市場の環境整備
- 共同達成 (Joint commitment)
- 地方都市同士の連携
- “神話”の解体
- もちろんNGO同士のより強い連携も大事

→負担の分配から利益の分配へのモデルに

13

## 参考文献

- IEA (2007) “Tracking Industrial Energy Efficiency and CO<sub>2</sub> Emissions”, 2007.
- Ning, Ya Dong, Tonooka Yutaka (2008), “Production Forms and Energy Consumption Structures of Chinese Iron and Steel Industry”, *Energy Resources*, 2008, Vol.29, No.5, p.313-318.

14